

第1部 研究発表「ケアの現象学的研究の実践」

10:00～10:05 開会の辞 松葉祥一

10:10～11:10 村上靖彦（大阪大学）「精神看護の現象学」

司会 西村高宏（東北文化学園大学）

11:10～12:10 福田俊子（聖隷クリストファー大学）「精神保健福祉領域におけるソーシャルワーカーの自己生成」

司会 本間直樹（大阪大学）

12:10～13:10 守田美奈子（日本赤十字看護大学）「緩和ケアの現象学」

司会 和田渡（阪南大学）

〈昼食〉 13:10～14:30

第2部 シンポジウム「ケアの現象学的研究の方法」

司会 浜渦辰二（大阪大学）

14:30～15:00 榊原哲也（東京大学）「現象学とは何か——看護研究のための現象学」

15:00～15:30 松葉祥一（神戸市看護大学）「現象学的看護研究の可能性と課題」

15:30～16:00 西村ユミ（首都大学東京）「事象から方法を選び取るとは」

16:00～16:30 グレッグ美鈴（神戸市看護大学）「他の質的研究との違い」

〈小休憩〉

16:40～17:50 全体討論

17:55～18:00 閉会の辞 榊原哲也

看護をはじめとするケアの領域においても、現象学的な研究方法が少しずつ知られるようになってきましたが、まだ「難しい」、「本当に役に立つのだろうか」という声があるのも事実です。そこで今回、看護と哲学の研究者が共同で行ってきた、現象学的看護研究の方法についての探求と、それにもとづく研究実践の成果を報告したいと思います。今回は看護学の領域が中心になりますが、広くケアの現象学的研究に関心のある方々、これから現象学的研究について学びたいという方々にご参加いただきたいと考えています。

ケアの現象学的研究 ——方法と実践

日時 2014年12月21日（日）

場所 東京大学本郷キャンパス 法文2号館 1番大教室

参加無料、予約不要

主催 科学研究「ケアの現象学の具体的展開と組織化」

（代表者：榊原哲也、基盤研究(B)、24320004）

「現象学的看護研究の方法論の確立」

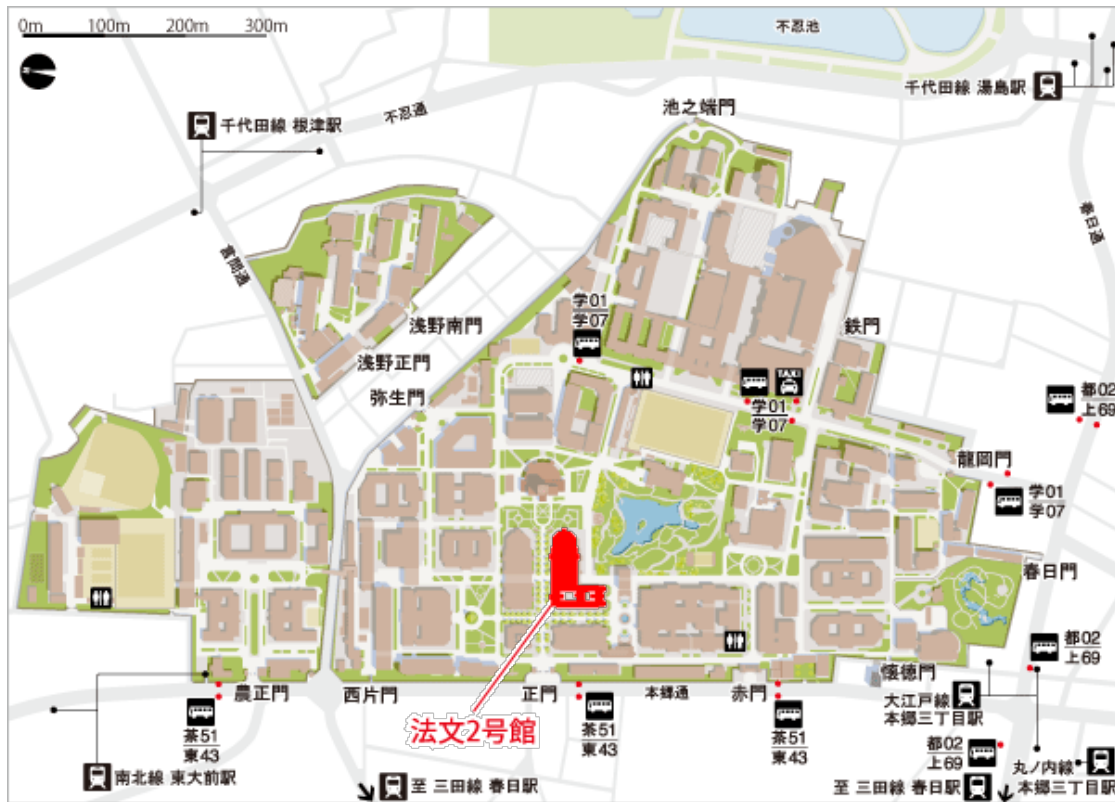
（代表者：松葉祥一、基盤研究(C)、21592712）

会場案内図 東京大学本郷キャンパス 法文2号館



〒113-8654 文京区本郷7-3-1(事務局)
TEL 03-3812-2111(代表)

本郷キャンパス 法文2号館



本郷アクセスマップ

